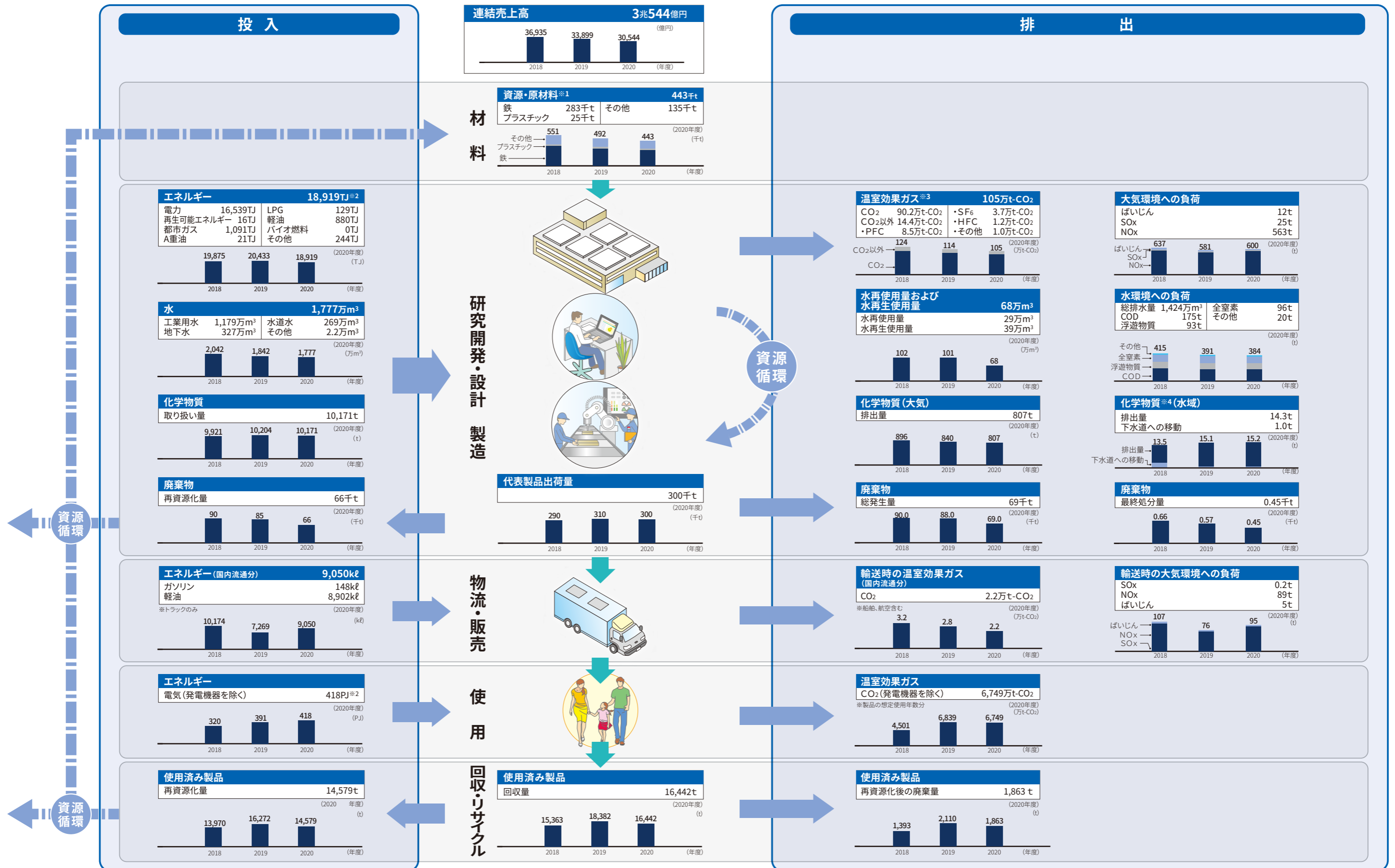


# 環境負荷全容



※1 投入資材については、東芝グループが独自に開発した産業連関表を利用した物質投入量推定方法(“EMIoT”: Estimation method for Material-inputs using Input-Output Table)を用いて算出しています。EMIoTは、産業連関表を基に作成した資源原単位により、総物質投入量を算出する手法です。資源の上流から下流へのフローに限定して産業連関分析を行い、産業部門別資源原単位をデータベース化したことに特徴があります。この手法により、資材調達部門が集計している資材分類ごとの調達金額データから、資源別投入質量を算出することができ、製品直接材料だけでなく、間接材料についても集計することができます。また、従来は複合素材の調達部品やサービス事業にともなう投入資材を資源量として集計することが困難でしたが、この手法を用いることにより、これらの調達資材についても資源の種類別に投入資源量を把握することができるようになりました。

※2 TJ=10<sup>12</sup>J、PJ=10<sup>15</sup>J。J(ジュール)は仕事量、熱量、電力量を表す単位で、1J=約0.239カロリー。

※3 電力CO<sub>2</sub>排出係数には、各電力会社より提供された排出係数を用いています。

※4 フッ化水素およびその水溶性塩については、使用しているフッ化水素が使用後の処理によって非水溶性塩になっているため、2009年度より該当物質の水域への排出を「0」としています。